

# 業界の声

## 情報連絡員

協同組合 山梨県鉄構工業会

専務理事 中込壹幸氏



### 現在の業界状況は？

受注物件数が減少傾向にあるため、全体的には下降しています。受注単価については、鋼材費が上昇しているため、加工費が圧縮され減少傾向にあり、全体的に単価が適正単価にはほど遠い状況にあるのではないかと思います。

また、鋼材購入のための立替払いの上昇により財政が圧迫されている組合員の声も耳にします。

その他、一般的に建築物の計画は四月から行われることが多くあります。そのため、当業界が実際に受注するのが夏頃から年末に掛けてまとめてくるケースが多く、年間を通してバランス良く受注ができない状況にあります。

### 組合として力を入れていることは？

現在、経営近代化委員会、教育技術安全委員会、調査情報相互委員会と三つの委員会を毎月一回づつ開催し、業界の情報収集並びに適正化に力を入れています。

組合事業としては、見積作成の経費削減のため、組合事務局のシステムを利用した共同積算事業を積極的に行っています。

また、組合員企業の品質向上及び平準化を図るため、全国鐵構工業協会による工場認定制度に全ての組合員が認定されるよう呼びかけを行っています。(現在は二九社が認定)

左記の認定制度は上から、S(スーパー)H(ハイ)M(ミドル)R(レギュラー)J(ジュニア)五つのランクに分かれており、このランクが受注

条件になっていている物件も発生してきているため、少しでも早く対応することが必要と考えられます。

### 後継者問題については？

現在組合青年部に二九社と組合員の半数が加入しており後継者問題はあまり無いと考えております。

### 趣味は？

二週間に一回は映画を見に行っています。やはり大画面で見ると、テレビとは比べものにならないぐらい迫力がありますね。

また、無尽会や業界内の有志の方々と旅行も楽しみにしています。

